

「腹膜透析患者における赤血球分布幅と左室心筋重量係数の関係」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2017年4月以降、山梨大学医学部附属病院で腹膜透析を開始した方へ

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2028年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025年6月1日

4. 研究の目的

本研究は、腎不全を患い腹膜透析を開始した方が日常診療の中で受けられた血液検査や、心エコー図検査の情報から、赤血球分布幅の数値と左室心筋重量係数の数値を抽出し、相関があるかどうかを調べる研究です。高血圧患者さんにおいては、赤血球分布幅が大きいほど、左室心筋重量係数も大きくなる傾向があり、左室肥大、心不全などの心臓病の発症と関連があることが知られていますが、腎不全患者さん、とりわけ腹膜透析患者さんにおいてその相関について調べた研究はかつてありません。この研究により、腹膜透析患者さんの心臓病の発症リスクを模索し、早期に治療介入できるようになることを目的としています。

5. 研究の方法

血液検査：血算の項目に含まれる赤血球分布幅(Red blood cell Distribution Width：RDW)

心エコー図検査：左室心筋重量係数(Left Ventricular Mass Index：LVMI)

腹膜透析を開始後、スクリーニング検査として実施している上記のうち、同日に測定している時点のデータを複数人数に渡り収集し、統計学的手法を使って相関関係を調べます。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：血液検査：血算の項目に含まれる赤血球分布幅(Red blood cell Distribution Width：RDW)

心エコー図検査：左室心筋重量係数(Left Ventricular Mass Index：LVMI)

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究の実施に際しては費用はかかりません。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者の所属・氏名：山梨大学医学部 内科学講座腎臓内科学教室 臨床助教 小佐野 慧一

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：kosano@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-2280